

電気通信大学 平成20年度シラバス

| | | | |
|---------|--------------------------------|----------|--------|
| 授業科目名 | インタラクティブシステム特論第一 | | |
| 英文授業科目名 | Topics on Interactive System 1 | | |
| 開講年度 | 2008年度 | 開講年次 | |
| 開講学期 | 前学期 | 開講コース・課程 | 博士前期課程 |
| 授業の方法 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 人間コミュニケーション学専攻 | | |
| 担当教官名 | 梶本 裕之 | | |
| 居室 | 西6-205 | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| kajimoto@hc.uec.ac.jp | http://www.kajimoto.hc.uec.ac.jp |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| 人間の機能的な側面を理解し、インタラクティブシステムを作成するための広範な知識習得を目指す。特に人間の知覚特性に基づくセンサ、ディスプレイの設計論を重視する。 |

| |
|---|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 人間は五感と呼ばれる限られた感覚チャンネルで外界を把握し、身体動作等のさらに限られたチャンネルによって外界に働きかける。インタラクティブシステムとはこの人間-世界の相互作用における世界に相当する部分を人工物に置き換えるものの総称である。 本講義では人間の各感覚の生理・心理学的な知見と照らし合わせ、現在までに提案されたインタラクティブシステムの妥当性を論じる。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 特になし |

| |
|---------------|
| 【教科書等】 |
| 特になし |

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

前半は講義を行い，後半はインタラクティブシステムに関する論文を配布し，各人に一回発表してもらいます．

講義目次

1. 感覚総論
2. 人間の視覚，視覚センシング，ディスプレイ技術
3. 人間の聴覚，聴覚センシング，ディスプレイ技術
4. 人間の触覚，触覚センシング，ディスプレイ技術
5. 人間の運動，体性感覚ディスプレイ技術
6. 拡張／複合現実感とウェアラブル技術

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席(50%)，論文発表(50%)

論文発表は出席者による採点を採用します．

最低限（事情のある場合を除き）全ての講義に出席し，自分の担当分の発表を行うことが必要です．

【オフィスアワー：授業相談】

随時．事前にメールしてください．

【学生へのメッセージ】

人間の機能的な側面に興味のある学生には面白い講義でしょう．

【その他】

なし